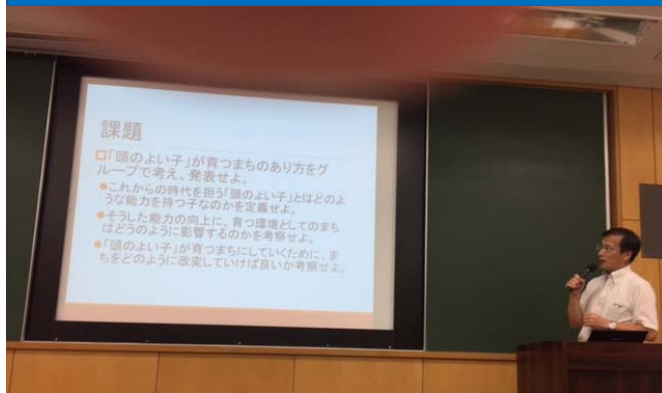


「頭のよい子が育つ家」PBL実証講座のご案内



四十万未来研究所では、文部科学省リカレント教育プログラムの開発・実施委託事業「頭のよい子が育つ家」PBL実証講座を来る、12月1日、2日両日に渡って開催致します。

講座の目的は、最先端教育・学習手法を用いた実践スタイルによる、子育て世代向け実学教育・探求学習対応住宅の設計・施工テキストの制作です。

教育・学習をテーマとしたエンドユーザーと共有できるテキスト作りは、工務店のみなさまの標準テキストとして広汎に使用される事を期待しています。

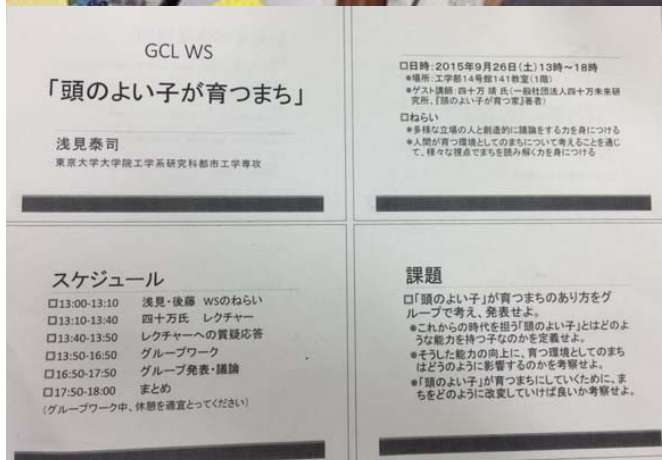
参加をご希望する方は、専用フォームにてこちらから、お申し込みください。

お問い合わせ

自治体・教育機関・企業の方はこちら

必須項目を記載してください。お問合せ内容にPBL実証講座参加希望とお書きください。参加者が複数人数の場合には、名前は代表者の方のみ、それ以外の方の名前と役職、年齢はまとめてお問合せ内容にお書きください。

2015年9月東京大学大学院で行われた頭のよい子が育つまちワークショップ



文科省委託事業 「頭のよい子が育つ家」 PBL実証講座の概要

- **実施目的**

本事業で開発した、「**頭のよい子が育つ家®**」を題材として子育てに適した住環境設計の専門知識と実践スキルを身につける教育プログラムについて、その教育効果の検証を行い、必要に応じて改善を図る。

- **対象者**

地場工務店の住宅設計技術者、工務店経営者、建築系専門学校生等。

- **講座内容**

- ・「**頭のよい子が育つ家®**」に関する基礎知識
- ・3Dモデリングソフトウェア「**SketchUp**」による設計手法
- ・CPM（クリティカルパス法）による工程管理、見積作成
- ・顧客要求分析・提案から住環境設計までの一連の工程を学習するPBL ※後述

- **学習目標**

子育て層のニーズに応じた付加価値提案型の住環境設計を主導できる専門知識・実践スキルを身につける。

- **実施手法**

集合学習形式による講義、演習、PBL（一部eラーニングを活用する場合あり）

- **日時**

12月1日（水）・2日（木）・1月中旬頃に別途2日間 合計4日間、合計 20 時間

- **受講人数**

16名（4名×4チーム）程度

- **会場**

施設名：TKP品川カンファレンスセンターカンファレンスルーム7C

<http://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-shinagawa-shinkan/access/>

https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-shinagawa-shinkan/room_detail/5881/

※会場までの交通費及び昼食代は受講者負担（受講料・資料代は無料）

「頭のよい子が育つ家®」とは

● 「頭のよい子が育つ家®」を題材とした理由

もし、家が子育てをしてくれたら？

子どもを育てることも、家を建てることも、人生の中で、時間もお金もかかることです。

もし、家を建てることで、家が子育てのある部分を担ってくれたとしたら、しかもそれが、未来を生きる力を育ててくれる、学校や塾に任せることができない、親こそができる子育ての部分だとしたら、どうでしょう。

子育て世代で家がほしいという人たちに、こういう家ならほしい！と思わせる、その付加価値をどう与えられるか。

「頭のよい子が育つ家®」は子育て世代に提案できる付加価値をつけた家、そのひとつの選択肢として捉え、家が人生の柱となる場所として、施主に寄り添う家づくりを考えていきます。

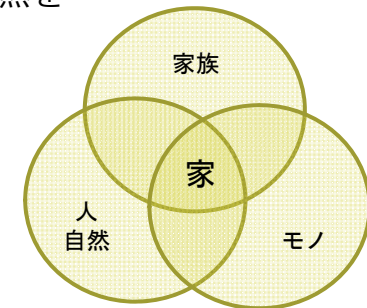
● 「頭のよい子が育つ家®」とは？

この家は、家族が自然と集い、語らい、コミュニケーションをとることができる場所です。

このように使ってください、という室の名前にとらわれず、家族が時間と空間、そしてモノを共有することで、コミュニケーションを育む場所としてだけでなく、外部からの人や自然をも招き入れる家です。

五感に刺激を与え、家族を五感で感じる家は家族を育ててくれます。

家族一人一人がそれぞれの部屋に住むような家ではなく、家族がひとつの部屋に暮らすようなコミュニケーションをもたらす家こそが「頭のよい子が育つ家®」です。



● 「頭のよい子が育つ家®」の間取り

日差しやそよ風と仲良しになれる「半屋外空間」という発想。

「内」と「外」の自然なコミュニケーションを演出。

ダイニング・キッチンスペース	: 料理が与えてくれる五感を存分に感じる経験をしながら、家族が寄り添える場所
コミュニケーションホール（土間）	: 家族が、友達が自然に集まる縁側
リビング	: 家族の団欒の開放的な空間であり、そのほかの部屋とも視線が行き交う場所
玄関	: 帰宅する喜びを広げる気持ち良い空間
和室	: 日本の空間の美学を感じながら、自由な空間として活用する
PCコーナー	: 家族誰もがコンピュータ作業だけでなく、多目的に学習や作業に使えるスペース
浴室・パウダールーム・中庭	: 空間の広がりや季節感を楽しむことができる

3Dモデリングソフトウェア「SketchUp」の利用

● 概要

SketchUp（スケッチアップ）は、@Last Softwareが開発と販売を行っていたが、Googleが同社を2006年3月に買収して全ての権利を譲渡、2012年5月に現在のTrimbleに買収されています。プロフェッショナル向けのSketchUp Pro、DIYやメイカー向けのSketchUp Shop、無償のSketchUp Freeという3つの版があります。プッシュ・プルと呼ばれるツールなどを用い、3次元空間で見たままの状態で感覚的な3Dモデリングを行うことができます。3Dでデザインして2D面に変換することができます。また、モデルからレポートを直接エクスポートして、コストの見積、パーツ合計その他を拾い上げることができます。

● 使用するための準備

今回は無償のSketchUp Freeを使用します。

以下のURLから使用ができます。

<https://www.sketchup.com/ja/plans-and-pricing/sketchup-free>

『モデリングを開始』をクリックすると、サインインページが開きます。

サインインにはメールアドレスとパスワードが必要になります。

登録がまだの方は、先に登録を行ってください。

（サインインすると英語版に移行することがあり、その場合はサインインしたまま、上記のURLを開いてください）

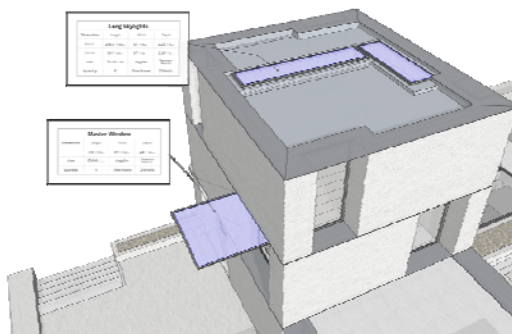
『モデリング開始』をクリックすると、使用できます。

● 使用例



こういう家が欲しいという模型をつかって、それが自動で図面化されるようなツールを使うことで、平面から立体ではなく、家の空間を立体のままイメージできるようにつくります。

sketchup
URL:
<https://www.sketchup.com/ja/industries/kitchen-bath-and-interior-design>より引用



モデルからレポートを直接エクスポート、コストの見積、パーツ合計その他を拾い上げることができます。そのプロセスが見えることで、見積書をわかりやすくします。

sketchup
URL:
<https://www.sketchup.com/ja/industries/residential-construction>より引用

PBLによる学習方法

- PBL = Project Based Learning の略称

- 様々なプロジェクトテーマを課題として、学習者のプロジェクトチームによって課題を解決させていく教育の手法。
- 課題の解決によって専門知識の活用能力の他、計画立案・実行能力、プレゼンテーション能力、チームでの活動能力（顧客も含めた社内外の人とのコミュニケーション能力等）といった実務スキルや問題解決能力の向上を目指す。

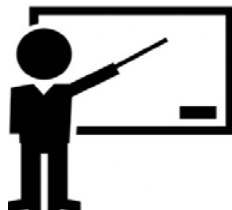
◆ 通常の学習 ◆

1. 講師主導で講義・演習を実施



新しい知識の獲得
(知識先行)
↓
提示された課題の解決

2. 講義（知識）や演習を通して学ぶ



講義



演習

3. 知識や技術の習得

◆ PBL演習による学習 ◆

1. 学習者主導で計画を立て、準備し実行



課題や問題の認識
↓
新しい実践

2. 実務の疑似体験を通じて学ぶ



報告や交渉



ドキュメント作成

3. 総合力（実務スキル）を養う

実証講座 コマ割（案）

コマ	日付	時間	概 要		手法
1	12/1 (水)	13:00～13:50	「頭のよい子が育つ家」に関する基礎知識		講義
2		14:00～14:50	SketchUpによる設計手法		講義・演習
3		15:00～15:50	CPMによる工程管理、見積作成		講義・演習
4		16:00～16:50	Phase 0 : ガイダンス	PBLに関する説明、グループ分け、PBLの背景・条件に関する説明等	PBL
5	12/2 (木)	13:00～13:50	Phase 1 : 営業・設計	ヒアリングによる施主の要求分析、住宅企画書の作成	
6		14:00～14:50		設計案の作成	
7		15:00～15:50		設計図・概算見積の作成	
8		16:00～16:50		設計図・仕様書の作成	
9	1月 第一日		Phase 2 : 見積り	CPMによる工事工程と時間の把握	
10				設計図・仕様書に基づく見積書の作成	
11	1月 第二日		Phase 3 : 施工	プロジェクトの施工管理	
12				建設計画書の作成	
13			Phase 4 : プレゼンテーション	建設計画書に基づくプレゼンテーション、全体ディスカッション、講評、アンケート等	